



「目輪煌」

三尻中学校だより

学びづくりは人づくり

学校教育目標 ・思いやりのある生徒 ・自ら学ぶ生徒 ・進んできたえる生徒  
『あいさつ』と『歌声』の響く学校 「イノベーション グローバルな世界へ」

「Motion & Emotion for Solid Academic Ability !」

R2.7.1発行

7月の予定 注意 感染症対策のため変更あり

2	木	部活動仮入部(～8日)
3	金	実力テスト(三年)
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	くまなびスクール第1回
9	木	部活動本入部
10	金	埼玉県学力学習状況調査
11	土	学級懇談会・部活動保護者会
12	日	
13	月	夏季休業日～8/30まで 臨時登校日(授業)～7/31
14	火	
15	水	
16	木	前期中間テスト第1日目
17	金	前期中間テスト第2日目
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	全国学力学習状況調査
22	水	
23	木	海の日
24	金	スポーツの日
25	土	陸上大会
26	日	陸上大会
27	月	
28	火	
29	水	市教委・北部教育事務所学校訪問
30	木	
31	金	全校集会 大清掃 臨時登校日(授業) 終了

～熊谷市教育委員会 教育長から～

拝啓  
木々の緑に夏の訪れを感じる今日この頃、お健やかに過ごしていることと存じます。熊谷市にお住まいのみなさま、こんにちは。熊谷市教育委員会教育長の野原晃でございます。

長い臨時休業期間が終わり、いよいよ六月一日月曜日から学校が開始されます。臨時休業が始まり三ヶ月。この三ヶ月を乗り越えることができたのは、熊谷市にお住まいのみなさまのおかげだと私は思っております。本日はみなさまに御礼を述べるため手紙を書かせていただきました。

まず、熊谷市に住んでいる児童・生徒のみなさん。  
臨時休業中も一生懸命課題に取り組んでいたこと、先生方から聞いています。三月二日に臨時休業が始まり、不安な気持ちや、やりきれない気持ちがあったと思います。この三ヶ月当たり前のことが当たり前でできないもどかしさやあせりもあったでしょう。学校に行けない・友達と会えないという不安や悲しみの中でも、困難に負けず、今できることを精一杯取り組んでくれました。そんな強くたくましいみなさんは私の誇りであり、熊谷市の宝です。どうもありがとう。【保護者のみなさん】突然の臨時休業から三ヶ月。常に子供たちの命のことを第一に考えてくださいました。自分の生活も変化する中、家でのお子さんへの学習支援、食事の準備等本当に大変だったことと思います。しかし、保護者のみなさんがお子さんに寄り添い、励まし生活してくださいのおかげで学校には来週から子供の笑顔が戻ります。また、分散登校中も登下校の見守りをしてくださいました。地域の子供も自分の子供と同様大切にしてくださいましたこと、大変うれしく思っています。また、この三ヶ月、市から出される方針を理解し、ご協力いただいたこと、心より感謝申し上げます。そして、【地域のみなさん】臨時休業中にも、子供たちの健康を気遣い、気にかけてくださいました。また、分散登校中も登下校の見守りをしてくださいました。自分の子供のように、あたたかく優しい心で熊谷の子供たちに接して下さいていること大変感謝しております。熊谷市は「地域みんなで子供を育てている」ということを改めて感じることができました。最後に【先生方】子供たちが学校にいない間にも課題の準備や添削をしてくれました。会えない間にも子供たちとのつながりを、絆をたやさめよう、各校が校長先生のリーダーシップのもと工夫して教育活動を進めてくれました。また、子供たちの学びを保障するため、WEB版くまなびスクールに工夫をこらした動画をたくさん作ってくれました。市内四十五校が一つのチームとして立ち上がり「子供たちに学力をつける」という一つの目標に向かって協力できたこと、誇りに思います。

熊谷市に住んでいるすべてのみなさんが、ワンチームとなり頑張ってくれたからこそ、この度の未曾有の事態を乗り越えることができつつあります。

みなさんご存じの「幡羅高等学校」の『家庭心得』には、「教育の道は、家庭の教養で芽を出し、学校の教養で花が咲き、世間の教養で実がなる」とあります。この非常事態の最中でも熊谷の子供たちが強い心をもち困難を乗り越えられたこと、目標を見失わず絶えず努力できたことは、すべて学校・家庭・地域の協力があってのことだと私はとらえています。

子供たちは今、学校が再開し、教室で共に学ぶこと、友達に会えることを楽しみにしていることと思います。しかし、コロナウイルスがなくなったわけではありません。学校では、一人ひとりの健康状態をしっかり把握するとともに、「3密」を避け、子供たちの命を第一に考えた教育活動を進めて参ります。こまめな手洗いうがい、マスクの着用、人との距離の取り方など引き続きコロナ対策を指導していきます。

熊谷市は現在、熊谷市教育振興基本計画「くまがやラグビー・オリパラプロジェクト」を立ち上げ、知・徳・体の「学力日本一」を目指しております。「すべては子供たちのために」を合い言葉に学校・家庭・地域で手を取り合い、共に学力日本一を目指して参りましょう。結びになりますが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

教育長 野原 晃

**夏休み期間について** 本校の夏休みは、実質**8月1日(土)～8月26日(水)**となります。8月27日、28日は、臨時登校日です。よろしくお願いいたします。

**熊谷市三尻中学校 校長 黒澤正之**

学校に笑顔と元気な声が戻りました。コロナ禍で3月2日から臨時休業となり、登校できなくなってから忍耐の日々が続きました。分散登校を経て、6月22日から通常登校になりました。全員がマスクをして、消毒を欠かさず、登校しています。制服でなく、毎日洗濯できる体育着での登校です。通常授業の開始とともに給食も開始されました。280円で食べられる給食が、こんなに有り難く美味しく思えたことはありません。部活動が再開され、校庭に熱気が戻りました。私たちは、毎日の生活が便利になり、何もかもが高速化した社会の中で他人に感謝すること、自分が我慢辛抱することの大切さを学びました。

コロナという元凶に対し、個人の生活がこれほどまでに制約され、私たちの何気ない自由がとことん制限されるとは思いませんでした。そして、大切な自分と同様に、自分以上に他人を思いやる多くの人が存在していることにも気づかされました。

コロナは私たちの生活に試練だけでなく危機感を与えました。今後の生活スタイルに警鐘を与えてくれたようにも思います。3年生からは、運動会、部活動の大会、そして、義務教育9年間の最大のイベント、修学旅行まで奪いました。

予想だにしなかった危機に直面し、私たちのライフスタイルも変えざるを得ない状況に陥りました。今、私たちにできることは何でしょうか。そして、どう生きていかなければならないのでしょうか。間違いなく大きな時代の変革期に、今、私たちは直面しています。

今やらねばならないことは何でしょうか。こんな私にできることは何でしょうか。そんなことを考えている毎日です。ただ、思うことは父と母に与えられたこの命、自分の生きる証を見つけていきたいと思ひます。愛すべき三尻中の生徒のために。

**雨にも負けず、風にも負けず、夏の暑さにも、そして、未知のコロナにも、三尻中の生徒も教師も絶対負けません。**

**三尻中スナップ**  
分散登校中授業風景

教室・体育館での授業の様子です。改修工事もしました。



